

宮城県感染症発生動向調査情報(第48週)

宮城県【平成26年12月04日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.11.24 ~ 11.30 ・ 第48週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	累計	第45週	第46週	第47週	第48週	
水痘	8 1.60	10 1.00	9 1.80		2 0.67	5 1.00		44 1.69	78 1.34	2,051	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		1 0.10		2 1.00	2 0.67	3 0.60	1 0.50	7 0.27	16 0.28	632	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	29 5.80	39 3.90	15 3.00	18 9.00	13 4.33	14 2.80	14 7.00	188 7.23	330 5.69	16,503	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	3 0.60	5 0.50		1 0.50		2 0.40	4 2.00	5 0.19	20 0.34	478	→	○ →	○ →	レ
伝染性紅斑	12 2.40	6 0.60	5 1.00		6 2.00	9 1.80		30 1.15	68 1.17	2,523	◎ →	◎ →	◎ →	◎
突発性発しん		4 0.40	5 1.00		3 1.00	3 0.60		23 0.88	38 0.66	1,843	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ	1 0.20							3 0.12	4 0.07	2,433	→	→	→	
インフルエンザ	40 5.00	19 1.27	9 1.13		11 2.20		1 0.25	35 0.83	115 1.24	29,060	→	→	→	○
咽頭結膜熱		3 0.30		4 2.00				10 0.38	17 0.29	658	→	→	→	
流行性角結膜炎						1 1.00		1 0.17	2 0.17	158	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	15 1.50	4 0.80	3 1.50	1 0.33	39 7.80		79 3.04	147 2.53	5,464	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			3 3.00	1 0.20	6 0.50	401	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	68 13.60	15 1.50	1 0.20			12 2.40		116 4.46	212 3.66	1,070	○ →	◎ →	◎ →	◎
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	1	3	1		3	10	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病									【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/				
	不明発疹症							5						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第45週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(1.15)、大分県(0.97)、岩手県(0.84)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は15例と前週と比較して増加し、8府県から報告があった。RSウイルス感染症: 報告数は4,328例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.04)、島根県(1.22)、新潟県(1.21)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(4.65)、北海道(4.20)、新潟県(3.87)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(12.41)、大分県(10.67)、福井県(9.82)である。水痘: 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(2.44)、山形県(1.80)、宮崎県(1.72)である。手足口病: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.12)、愛媛県(2.70)、鹿児島県(2.04)である。百日咳: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位2位は福岡県(0.06)、栃木県(0.04)である。ヘルパンギーナ: 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(0.46)、香川県(0.34)、宮崎県(0.33)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は福島県(1.71)、青森県(1.00)、富山県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は2週連続で減少した。5県から5例報告があり、年齢別では10歳(1例)、1~4歳(2例)、5~9歳(1例)、10代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
仙南管内 男性2名(第47週)
大崎管内 女性1名
仙台管内 男性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O111)
仙台管内 男性1名、女性2名
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
仙台管内 女性1名
4類感染症: 報告なし
5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 女性1名
ジアルジア症
仙台管内 男性1名
侵袭性インフルエンザ菌感染症
大崎管内 女性1名
侵袭性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】

登米管内で警報値を超えた。
仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第43週採取分 ヒトパレコウイルス (1型) 1件
第45週採取分 サボウイルス 1件
第46週採取分 サボウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第46週採取分 (11.10~11.16)	第47週採取分 (11.17~11.23)	第48週採取分 (11.24~11.30)
バインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
バインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
バインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	3件	4件	3件
アデノウイルス	1件	2件	0件
ライノウイルス	0件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件
サトウカゲウイルス	0件	1件	0件